

サカイ引越センター 大学生の卒業研究に協力しました！

サカイ引越センターにおける女性の働き方について、慶應義塾大学 経済学部経済学科三嶋恒平研究会4年生の林 佳社さんの卒業研究の調査に協力しました。

株式会社サカイ引越センター(大阪府堺市:代表取締役社長 田島 哲康、以下「サカイ引越センター」)は、2022年1月にダイバーシティ推進室を設置し、女性の執行役員が責任者となり、「いきいきと活躍できる職場」を合言葉に、ダイバーシティの推進を目指しています。その取り組みの1つである、女性現場スタッフが集まる「まごジョ会」(※詳細下記)へ、慶應義塾大学 経済学部経済学科 4年生の林 佳社さんが取材に来られました。

林さんは、卒業論文のテーマに「女性活躍におけるロールモデルアプローチの限界と集团的登用の有効性」を掲げられており、男性従業員が多い企業数社に取材をされています。その中で、当社の「まごジョ会」に興味を持っていただき、9月に中日本地区で開催された中日本「まごジョ会」に取材に参加していただきました。

サカイ引越センターは学生からの取材依頼に積極的に協力し、教育活動を通じた社会貢献にも取り組んで参ります。



※まごジョ会とは

「まごころ女子会」を略してまごジョ会と呼んでいます。

当社のモットーである「まごころこめておつきあい」を実現すべく、全国各地で定期的に女性現場スタッフが集まり、女性ならではの視点でのディスカッションや技術研修を行っています。女性現場スタッフは、支社ごとで見るとまだまだ人数は少ないですが、まごジョ会という集まる機会を作ることで、女性現場スタッフ同士での意見交換や、日頃の悩みを共有するコミュニケーションの場としても活用しています。

まごジョ会のディスカッションから、お客様への新サービスの発信、社内の新制度が生まれています。

【林さん(学生)からの取材内容】



グループディスカッションへの参加



女性現場スタッフによる取り組み発表への質問



技術研修への参加



最後に、林さんからまごジョ会参加者への質問



慶應義塾大学
経済学部 経済学科
三嶋恒平研究会4年生
林 佳杜さん

【まごジョ会の感想】

まごジョ会に参加させていただきありがとうございました！女性スタッフの方々が積極的にアイデアを提案されているお姿や、誇りを持って技術研修に取り組まれている姿勢に感動いたしました！

また、女性活躍推進はダイバーシティ経営の第一歩と言われますが、まさしくダイバーシティの強みを肌で実感した非常に学びの多い会でした。

皆様が今後自身の強みを活かしながら、ご活躍されることを心よりお祈り申し上げます。

— 本件に関するお問い合わせ —

株式会社サカイ引越センター 広報課 中西

Mail : sakaipr@hikkoshi-sakai.co.jp TEL : 072-241-0464 / FAX : 072-241-0191